

水戸教育事務所だより

すぐ寄り添う事務所～「転ばぬ先の杖」として～

第 1 号
2023年 4 月 14 日

所長あいさつ



人口減少・流出の危機に対応した 学校教育の実現に向けて

水戸教育事務所長 平子 剛之

茨城県県北教育事務所からまいりました平子剛之（ひらこたけし）と申します。

私は、初任校が那珂湊市（現ひたちなか市）立那珂湊中学校で、6年間勤務しました。居住地は県北ですが、この度水戸管内に戻る事となり、初心に返るとともに、「ただいま」という懐かしい気持ちでおります。教員として歩み出せるよう育てていただいたこの地に、恩返しできるよう精一杯努めますので、皆様どうぞよろしく願いいたします。

さて、現在は人口減少・流出、さらに少子高齢化の状況を受け、社会全体で、将来に向けた待ったなしの対応が求められています。学校教育もご多分に漏れず、地域連携による地域コミュニティの維持、人口減少社会に耐えうる未来を創る人財の育成は、各学校に求められているミッションです。

地域とともにある学校づくりは学校のためだけではなく、地域人材を活用し学校を活性化させるとともに、地域の人々にとっても活力となり、地域住民のつながりを強くしていきます。

そして、社会の現状や背景をとらえたうえで、未来の地域社会を、茨城県を、日本を創る人財を育成しているという誇りを胸に、各学校の各先生方にご活躍いただきたいと思っています。

この3年間のコロナ禍において、管内の市町村教委や学校では、様々な行事等を見直し、精選したり形を変えて実施したりと、創意工夫しながら対応してこられました。

おそらく今年度も、前例に囚われない柔軟な発想と実行力のある学校教育の実現が求められると思われまます。

管内の各学校が、目の前の子供たちのために、充実した学校づくりを進めていただくとともに、その魅力により、今後教師を目指す人財が増え、継続的に学校現場で活躍していくことを願っています。水戸教育事務所も、管内各市町村教委と連携し学校を支えていきます。

皆様、今後ともよろしく願いいたします。

「春の日に」
ちぎり絵（U・Y作）

